



スチームアイロン ZAE-100

取扱説明書

保証書付

もくじ



- 安全上のご注意 …… ①～③
- 仕様 …… ③
- 各部の名称 …… ④
- 使いかた …… ⑤～⑦
- お手入れ …… ⑧
- 故障かな?と思ったら …… ⑧
- 上手な使いかた …… ⑨
- アフターサービスについて… ⑩
- 保証書 …… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは弊社スチームアイロンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



15A以上

15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると、異常発熱・火災の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

交流100V以外の電源は使用しない

感電・発火の原因となります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・やけど・けがの原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

⚠ 警告



プラグを
抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがの原因になります。給排水時にも必ず抜いてください。



根元まで
差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



ホコリを
とる

**電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは
乾いた布でふき取る**

火災の原因になります。



本体から
離れない

使用中は、本体から離れない

離れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意



禁止

本体が熱いときにコードを巻き付けない

ショートや発火の原因になります。



禁止

**使用中や使用直後は高温部(かけ面など)や、熱いスチームに
手を触れない**

やけどの原因になります。



プラグを
抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



禁止

本体を左右に傾けたり、前後に激しく動かさない

熱湯がこぼれ、やけどの原因となります。



アイロンかけをする衣服に適した温度に設定する

P3を参照して、衣服の材質にあった温度にしてください。

熱に弱い衣服は、当て布などをしてください。

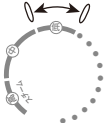
衣服が溶けたり、かけ面に繊維が溶着することがあります。

使用上のご注意

より安全・快適にお使いになるために次のことに注意してください。

- スチームに触れるとやけどの原因となります。また、アイロン台から反射したり通過するスチームにも十分注意してください。
- 衣類専用ですので、他の目的で使用しないでください。
- 上水道の水以外は、タンクに入れないでください。(ミネラルウォーター、アルカリイオン整水器、軟水器の水や香料を含んだ水などを入れると、スチームが出なくなる原因になります)
- 電源を切っているときや、スチームでアイロンかけをしないときには、スチーム切換レバーをドライにしてください。水が漏れることがあります。
- アイロンかけは、衣類の表示にしたがって低温から行ってください。
- スチームを使用するときは、温度設定を「高」にしてください。

絵表示と温度の関係

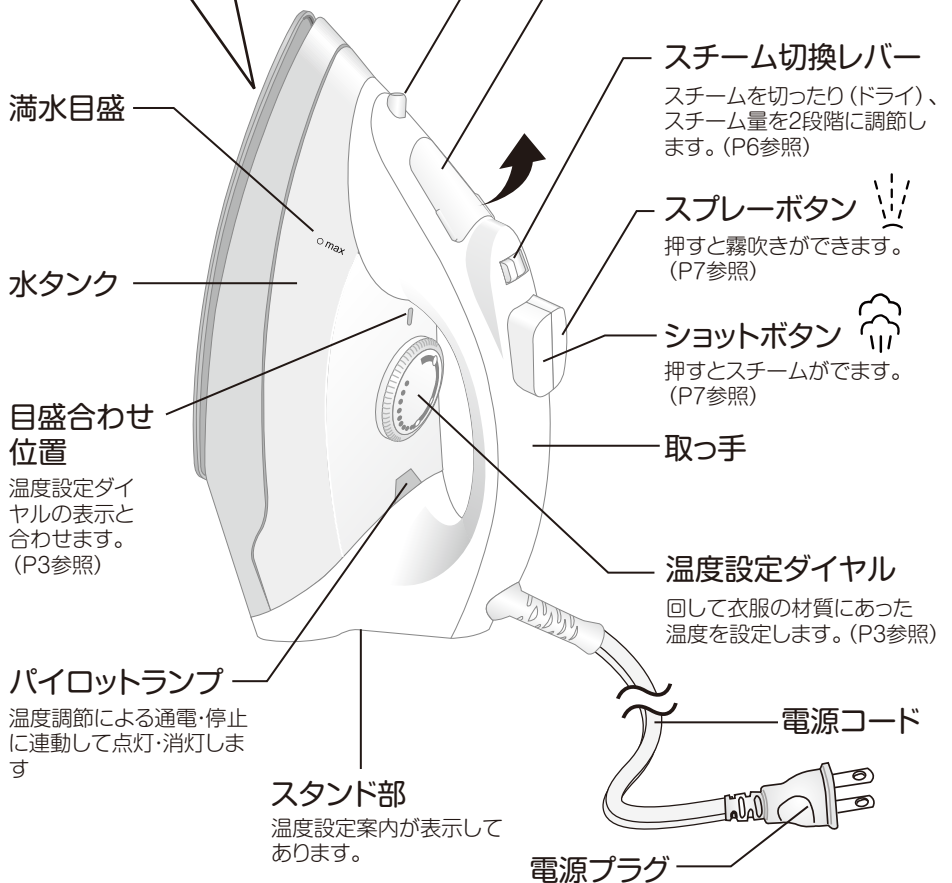
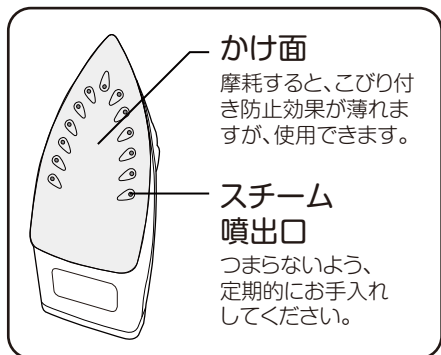
繊維製品の 絵 表 示			
布地の種類	アクリル アクリル系 ビニリデン ポリウレタン ポリプロピレン	絹・毛・ナイロン ビニロン・レーヨン キュプラ・アセテート ポリエステル	綿 麻
温度設定位置	低 	中 	高 
かけ面の温度	110℃まで	150℃まで	200℃まで

- ※ 混紡の布は、熱に弱い繊維に温度を合わせてください。
- ※ 温度を低めに設定し、試してからアイロンかけをしてください。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	温度調節範囲	70～200℃
消費電力	1000W	水タンク容量	180mL
本体寸法	253x106x130mm	コ ー ド 長	1.6m
本体質量	0.8kg	付 属 品	計量カップ

各部の名称



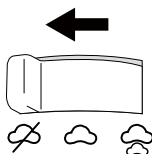
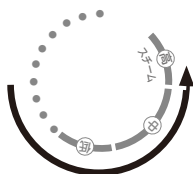
使いかた

ドライアイロンとしてお使いになるときは、タンクに水を入れなくても、お使いいただけます。

1. 準備する (水タンクに水を入れる)

- ①温度設定ダイヤルを左いっぱいに戻します。
- ②スチーム切換レバーをドライにします。
- ③注水口のふたを開けて水を入れ、ふたを閉めます。

目盛あわせ位置

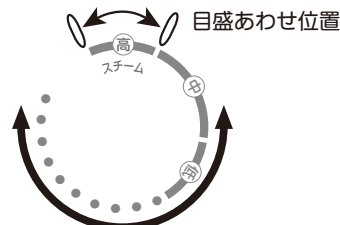
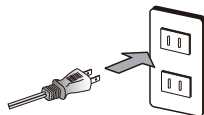


⚠ 注意

- ミネラルウォーター・アルカリイオン整水器・軟水器の水や香料を含んだ水などは入れないでください。
- 満水目盛 (Max) 以上の水を入れないでください。

2. 電源を入れる

- ①電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - ②温度設定ダイヤルを回して、繊維に合わせた温度に設定します。
- このとき、パイロットランプが点灯します。



スチームの場合の目盛

- 衣服の材質にあった温度にしてください。(P3参照)
- 熱に弱い衣服は、当て布などをしてください。
衣服が溶けたり、かけ面に繊維が溶着することがあります。
- アイロンかけの前に衣類を分類して、低温のものから高温のものにかけてみましょう。
高温から低温に温度設定を切り換えても、かけ面の温度が下がるまで時間がかかります。
- 温度は低めに設定し、試してからアイロンかけをしましょう。

⚠ 注意

スチーム目盛の範囲外でスチームを出すと、スチーム穴から湯滴が出ることがありますので、必ずスチーム目盛の範囲内に合わせてください。

使いかた

3.使用する

①温度が設定温度に達してパイロットランプが消えたら、ご使用ください。

※パイロットランプが点灯中に使用しないでください。スチームやショットが出にくく水漏れ・湯滴の原因になります。

※パイロットランプは点灯・消灯を繰り返します。

②スチーム切換レバーを使い方に応じて設定します。

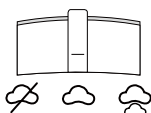
※アイロンを水平にしてからスチーム切換レバーを動かします。

※布地の種類や目的に合わせてスチームとドライを使い分けましょう。

スチーム

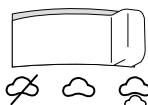
- ・ウールのシワを伸ばしたいとき
- ・セーターの形を整えたいとき
- ・ズボンに折り目をつけたいとき

〔ノーマルスチーム〕



薄手の布の仕上げに

〔ハイパースチーム〕



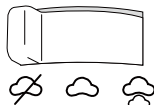
厚手の布や綿・麻の仕上げに

- スチームの出が悪い時はアイロンを水平にし、ショットボタンを2～3回操作して、スチームにしてください。
- 低温でスチームを出さないでください。水漏れの原因になります。
- 布地に汚れやなどが付着していないか確認してください。

洗濯した衣類に洗剤が残っていたり、汚れや異物がついたままアイロンかけをすると、衣類が変色したり衣類を傷めることがあります。

ドライ

- ・霧吹きやスモウザーなどを使うとき
- ・合成繊維のとき
- ・絹など薄物
- ・洗濯後で生乾きのとき



水タンクに水を入れた状態でドライアイロンとしてご使用になる場合は、スチーム切換レバーをドライの位置にしてください。

⚠ 注意

温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合は、パイロットランプがいったん点灯し、再度消灯するまでまつてからご使用ください。

使いかた

ショット

ショットボタンを押すと、かけ面からスチームがでます。

- ① 水タンクに水を入れ、スチーム切換レバーをドライにします。
- ② 温度設定を「高」にして、パイロットランプが「点灯→消灯」してから、ご使用ください。



※スチームとショットを併用するとショットの勢いが弱くなります。
※4秒間隔より早く操作しないでください。また、ショットが弱くなったら操作しないでください。(湯滴漏れの原因になります。)
※ショットが出にくい時は、ショットボタンを数回押してください。

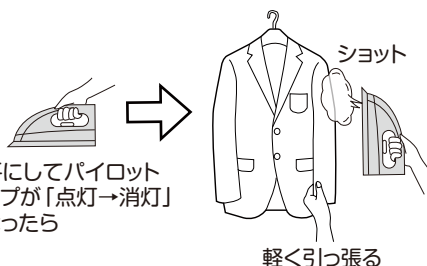
●アイロンを水平にして

布地全体にショットして、形を整えるときなどや一部分だけにスチームをしたいときなどに使用します。

●アイロンを立てて(図を参照)

ハンガーに衣類をかけて布地のしわ取りをしたい部分にショットします。

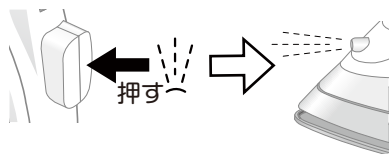
水平にしてパイロットランプが「点灯→消灯」になったら



スプレー

スプレーボタンを押すと、霧吹きとして使用できます。

布地のガンコなしわを伸ばしたいときなどに使用します。

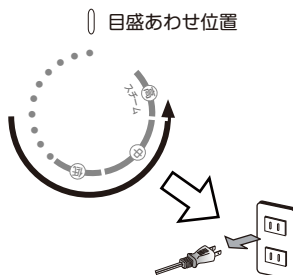


※アイロンを水平にしてください。
※スチーム切換レバーは、どの位置でも使用できますが、必ず水タンクに水を入れてください。
※温度設定ダイヤルのどの位置でも使用できます。
※スプレーが出にくい時は、スプレーボタンを数回押してください。

4. 使い終わったら排水する

- ① 温度設定ダイヤルを左いっぱいに戻してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 注水口を下にし、よく振って水を捨ててください。

※収納するときは、スチーム切換レバーをドライにし、安全なところに立てて保管してください。



⚠ 注意

付着した水分でアイロン内部が腐食しますので、ご使用後はただちによく排水し、スチーム切換レバーをドライにしてください。
冷えてから排水したときは、高の目盛りで約5分間、通電してください。

お手入れ



- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体を十分に冷ましてから行ってください。

本体やかけ面などの汚れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。

※スプレーのりなどを使用した際は、かけ面を使用ごとにお手入れしてください。
※みがき粉、シンナーなどは使わないでください。

スチームの穴がつまったとき

不要な布の上でショットボタンを数回押してください。

故障かな?と思ったら

下記の表でチェックしてください。直らないときは修理をご依頼ください。

こんなとき	処 置
熱くならない	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ●温度設定ダイヤルを布地に合った温度に設定してください。
スチームが出ない/少ない	●スチーム切換ボタンをスチームにしてください。 ●ショットボタンを2～3回操作してください。 ●パイロットランプが点灯しているときは消えるまでまってください。 ●水タンクに水を入れて満水にしてください。 ●スチーム目盛の範囲内に合わせてください。 ●スチーム穴がつまっていたら、お手入れしてください。
スプレーが出ない	●スプレーボタンを数回押してください。 ●水タンクに水を入れて満水にしてください。
水漏れ/湯滴が出る	●パイロットランプが点灯しているときは消えるまでまってください。 ●スチーム目盛の範囲内に合わせてください。 ●スチームアイロンとして使わないときや、電源を切っているときはスチーム切換ボタンをドライにしてください。 ●ショットを短い間隔で操作しないで、4秒以上間隔を開けて操作してください。
布地が焦げる	●高温から低温に変えた場合は、パイロットランプがいったん点灯し、再度消灯するまでまってください。 ●温度設定を適温にしてください。(P3参照) ●当て布をしてください。
白い粉が出る	●水アカが出るもので異常ではありません。 - 不要な布の上で数回ショットボタンを押してください。

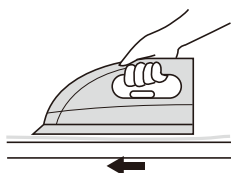
上手な使いかた

- アイロンかけの前に衣類を分類して、低温のものから高温のものにかけましょう。
- 温度は低めに設定し、試してからアイロンかけをしましょう。



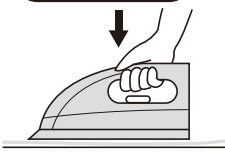
アイロンかけのポイント

すべらせる



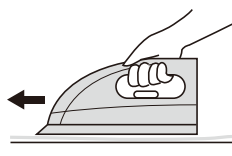
衣類の上を軽くすべるようにかける。無理な力をかけない。

押さえる



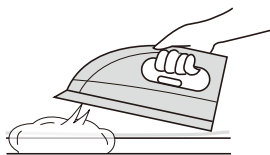
折り目をつけたり、シワ部分はしっかり押さえて。

一方向に



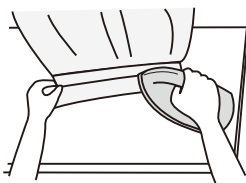
往復させたり、無理な方向にかけると、もどりシワができます。

浮かせる



毛足の長いウールの仕上げや、こみ入ったデザイン部分の仕上げに。

襟



引っ張りながら、端から中央に向かって半分ずつ。

袖



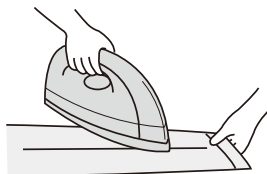
内側にアイロンをしっかりと。

両手を使って



空いたほうの手で布を引っ張ったり、アイロンを持ち替えたりして、まんべんなく。

縫い目は引っ張って



細かいシワができないよう片方の手で引っ張って。

アフターサービスについて

製品の保証について

●この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

●保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

●Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。